

-----7月1日-----

※ 今週のアウトルック (7/1~7/5)

先週は前半こそ、もみ合いの展開となりましたが、週後半には円安が進行して、週末を迎えています。

今週は米国雇用統計などの、重要指標の発表を控え、週前半は動きづらい展開となることも予想されますが、マクロ指標の改善傾向が鮮明になった場合には、米国金融緩和策縮小予測が強くなり、円安、ドル高傾向がもう一段進むことも予想されます。

ドル円は、99円台まで反発して先週を終えています。今週も、米国雇用統計などの改善が決定づけられれば、もう一段のドル高進行が、予想されるように思います。

テクニカル的には、5月の最高値の103円付近を狙う動きも予想されます。

ドル円の予想レンジは98円から103円です。

ユーロは、ユーロドルの急落傾向が幾分弱まったものの、ドル買い、ユーロ売り傾向は今週も続くように思います。

一方、ユーロ円は、ドル円の上昇傾向がより鮮明になれば、130円超えから132円付近を目指す動きも予想されます。

ユーロ円の予想レンジは128円から133円です。

ポンドも、ポンドドルの下落傾向が強い中、今週 1.5付近で、下げ止まるかどうか注目されます。

ポンド円もポンドドルが安定すれば、155円付近を狙う動きとなることが予想されます。

ポンド円の予想レンジは149円から155円です。

今週は、前半こそ利益確定売りから、一時的に円高に進むことも考えられますが、後半は米国雇用統計の改善が予想通りであれば、もう一段の円安が予想できるように思います。

**\*免責事項\***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。